

大学等のインターンシップに関する 関係会議における検討状況

- 1) 我が国の人材育成強化に関する対応方針（抜粋） . . . P 1
（平成 25 年 4 月 22 日 経済財政諮問会議（第 9 回））
- 2) 人材力強化のための教育改革プラン（抜粋） . . . P 5
（平成 25 年 4 月 23 日 産業競争力会議（第 7 回））
- 3) 人材力強化のための教育戦略（抜粋） . . . P 9
（平成 25 年 3 月 15 日 産業競争力会議（第 4 回））
- 4) 若者・女性活躍推進フォーラム提言の概要（抜粋） . . . P 11
（平成 25 年 5 月 19 日 若者・女性活躍推進フォーラム（第 8 回））
- 5) これからの大学教育等の在り方について（第三次提言素案） . . . P 13
（平成 25 年 5 月 22 日 教育再生実行会議）
- 6) キャリア教育推進特命委員会提言 . . . P 23
（平成 25 年 4 月 24 日 自由民主党政務調査会キャリア教育推進
特命委員会）
- 7) 教育再生実行本部第二次提言 . . . P 27
「大学・入試の抜本改革」に関する提言
（平成 25 年 5 月 23 日 自由民主党教育再生実行本部）

我が国の人材育成強化に関する対応方針 (大学生等の就職・採用活動問題を中心に)

平成 25 年 4 月 22 日
内閣府
文部科学省
厚生労働省
経済産業省

1 はじめに

- 人材こそが我が国の最大の資源であり、国際競争の激化、技術革新が飛躍的に進むなど内外の変化が大きい時代において、我が国の持続的な発展を図っていくためには、人材の育成体制を抜本的に強化していくことが重要である。

優れた人材を効果的に育成していくことは、社会全体にとって望まれることであり、政府、大学・短期大学・高等専門学校等の高等教育機関、経済界が一体となって、教育の質の向上や就職・採用活動の問題等の抜本的解決に取り組み、我が国が今後必要とする人材の育成を強力に推進していく必要がある。

- 我が国では、卒業見込みの学生について、卒業後直ちに働き始めることを前提に在学中に採用を内定する、いわゆる「新卒一括採用」の採用慣行が定着してきた。そのため、若年失業率は、先進国の中では低くなっていると評価されている。

他方、就職活動の早期化・長期化は、学業に専念すべき学生自身の負担になるばかりでなく、学生の成長が最も期待される卒業・修了前年度の教育に支障を来し、結果として学生の学力の低下が懸念されている。

また、グローバル人材の不足が顕在化しているにも関わらず、就職活動時期の早期化を一因として、海外で学ぶ学生数はこのところ減少の一途をたどっている。

さらに、ここ数年、大学等の高等教育機関を卒業した者のうち進学せず、未就職又は一時的な仕事に就いている者が、10万人を超える高水準で推移する一方で、数多くの優れた中小企業は、その魅力が学生等に対して十分に理解されていないことなどから、人材を十分に確保できないというミスマッチが顕在化している。

- これらの課題を解決し、大学等の高等教育機関において充実した教育を行い、社会が求める人材を育成するため、政府としては、キャリア教育・就職支援機能の強化、中小企業への就職支援策の充実・強化、学卒未就職者への支援の拡充について、重点的に取り組む。

大学等の高等教育機関に対しては、その本務たる教育の充実や地域産業界のニーズを踏まえたカリキュラム策定等の教育の質の向上に取り組むことを求める。

経済界に対しては、教育の充実や留学促進の観点から、就職・採用活動時期のさらなる後ろ倒しを求める。また、大学等におけるキャリア教育の充実に向けた地域産業界による協力・支援を求める。

2 重点的に取り組むべき事項

(1) 教育の充実・留学促進等のための就職・採用活動時期の後ろ倒し

- 新卒一括採用慣行を前提とし、学生の学修時間の確保や教育の充実を図り、また、海外の大学等に留学していた学生の帰国時期を勘案すれば、学生の就職・採用活動時期の後ろ倒しが必要である。そのため、経済界に対し、卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降から、学生に対する広報活動を開始し、その後の採用選考活動については、8月1日以降に開始することを求める。

なお、就職・採用活動時期の後ろ倒しの際には、海外の大学等に留学していた学生に十分な就職活動を行う機会を与え、学生が安心して卒業・修了前年度に留学に出られるよう、学生や大学等のニーズを踏まえ、適切な環境を整えることを期待する。

- 就職・採用活動時期を上述のように後ろ倒しした場合には、中小企業の採用活動にも影響が及ぶ可能性があることから、中小企業の就職・採用活動が円滑に進むように以下(2)～(4)の取組を実施する。

(2) 在学生に対するキャリア教育・就職支援機能の強化

- 前記(1)を踏まえ、政府は、インターンシップに参加する学生の数の目標設定を行った上で、大学等と地域産業界との調整を行う仕組みを構築し、学生に対して、卒業・修了前年度の夏季・春季休暇中に行うインターンシップ、地元企業の研究やマッチングの機会の拡充をはじめ、キャリア教育から就職まで一貫して支援する体制を強化する。

なお、教育効果の高い比較的長期のインターンシップの有用性や中小企業の魅力発信としての活用の重要性を示すこと等について、関係団体等の意見を踏まえつつ、現行の「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方(平成9年9月18日 文部省、通商産業省、労働省)」について、関係省庁間で見直しに向けた検討を行う。

(3) 中小企業への就職支援策の充実・強化

- 政府としては、
 - ① 地域の中小企業と大学等が連携し、経営者による出前講座等を通じて中小企業と学生が日常的に顔の見える関係を構築するとともに、合同説明会等によるマッチング支援を全国的に展開すること、
 - ② 詳細な企業情報・採用情報を公開し積極的に若者を採用・育成する中小企業を「若者応援企業」として位置付け、その情報発信を強化するとともに、新卒応援ハローワーク等を活用して学生と中小企業とのマッチングを推進すること、

等の施策を展開していく。

- 大学等や各地域の経済団体、地方公共団体等においても、前記施策の展開を十分に活用されるとともに、独自の事業として、地域の企業を対象とした合同就職説明会の開催等に、積極的に取り組むことを求める。

(4) 学卒未就職者への支援の拡充

- 学卒未就職者に対しては、新卒応援ハローワーク等のジョブサポーターを通じた支援の実施とともに、紹介予定派遣（派遣先企業への職業紹介を予定して行われる派遣）の活用により、正社員就職を促進する。

3 今後の対応

- 政府としては、大学等、経済界と一体となって、後ろ倒しの円滑な実施に向けて必要な施策に取り組み、平成27年度卒業・修了予定者（現在大学2年生等）の就職活動から後ろ倒しを実施する。
- 国家公務員採用試験については、平成27年度卒業・修了予定者からの見直しに向け、必要な措置をとるよう、人事院に要請することも含め準備を行う。
また、地方公務員採用試験についても、国家公務員採用試験における対応を踏まえ、必要に応じ地方公共団体に対する要請を行う。
- なお、今回の後ろ倒しに際して、今後就職活動時期を迎える若者に不安と混乱が生じないように、丁寧な対応を行う。

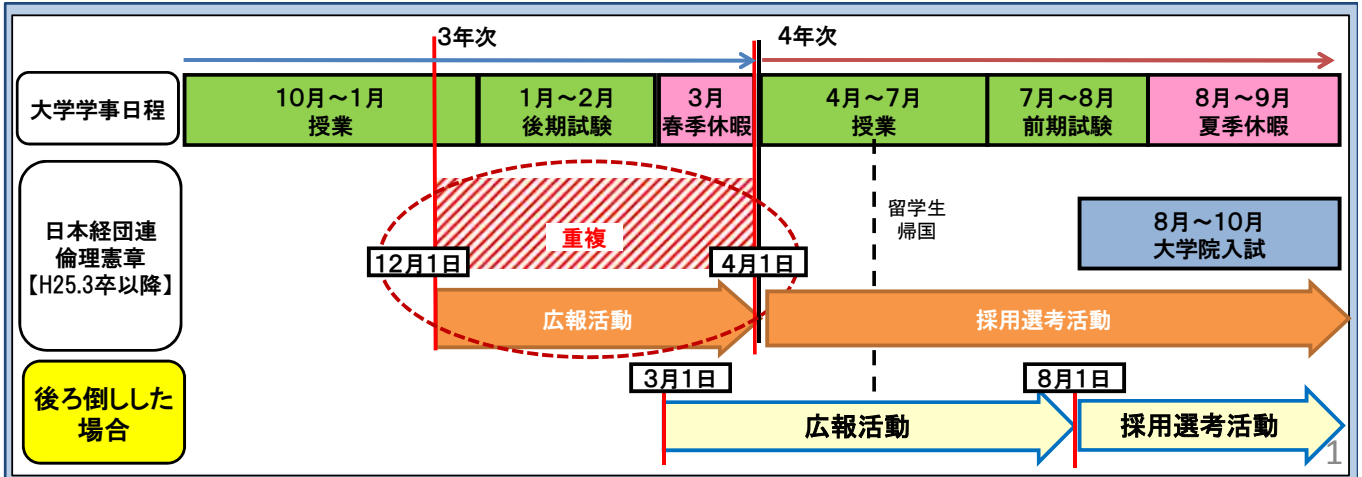
就職活動時期の後ろ倒しについて

現在の就職活動時期をめぐっては、以下の問題が顕在化

- 倫理憲章の改訂(H23.3)により広報活動開始が3年次10月から12月となったものの、依然として、**大学の授業・試験期間と重複**。
- 学生の成長が最も期待される**3年次の教育に支障**。
- 学生は、**3年次後期の留学をあきらめざるを得ない**状況。

→ このため、就職活動の時期を後ろ倒しあわせて、政府・経済界・教育界が一体となって以下の課題に取り組むこととする

- ① 大学においても社会の求める人材を育成するための取組を強力に推進。
- ② 中小企業の魅力発信を強化するなど一層の対策を実施。
- ③ ミスマッチ解消のため、インターンシップに参加する大学生の数の目標設定を行った上で、早期のインターンシップ・キャリア形成支援などを実施。



就職活動時期の後ろ倒しに伴う環境整備について

○就職活動時期については、大学3年生まで学業に専念できる環境をつくるため、**広報活動、採用選考活動(内々定)**の後ろ倒しを検討。その実施にあたっては、**大学においても社会経済の求める人材を育成するための取組を強力に推進**するとともに、政府として、以下の課題について、総合的な支援策の実施による環境整備を行う必要。

- <課題>
- ① **中小企業の魅力発信を強化するなど一層の対策**が必要。
 - ② ミスマッチ解消のため、インターンシップに参加する大学生の数の目標設定を行った上で、**早期のインターンシップ・キャリア形成支援**が必要。
 - ③ **留学生数の具体的な目標設定**を行った上での踏み込んだ施策推進が必要。

就職活動時期を後ろ倒しにした場合のスケジュールと支援策(イメージ)



注) 広報活動: 採用を目的とした情報を学生に対して発信する活動。採用のための実質的な選考とならない活動。採用選考活動: 採用のための実質的な選考を行う活動。採用のために参加が必須となる活動。

■人材力強化のための教育改革プラン

～ 国立大学改革、グローバル人材育成、学び直しを中心として ～

(平成25年4月23日産業競争力会議 下村文部科学大臣提出資料)

P2～23

○学生を鍛え上げ社会に送り出す機能強化

○教育・研究の基盤となる大学の機能強化

関連資料

P24～30



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

補足資料

- 学生を鍛え上げ社会に送り出す機能強化
- 教育・研究の基盤となる大学の機能強化

関連資料

3

- ✓ 学生を徹底して鍛える教育環境作り
- ✓ 就職活動時期の後ろ倒しについて
- ✓ キャリア教育、インターンシップの充実
- ✓ 地域活性化の核となる大学の形成
—COC (Center of Community)の整備等—
- ✓ 私立大学の財政基盤の確立とメリハリある資金配分の推進

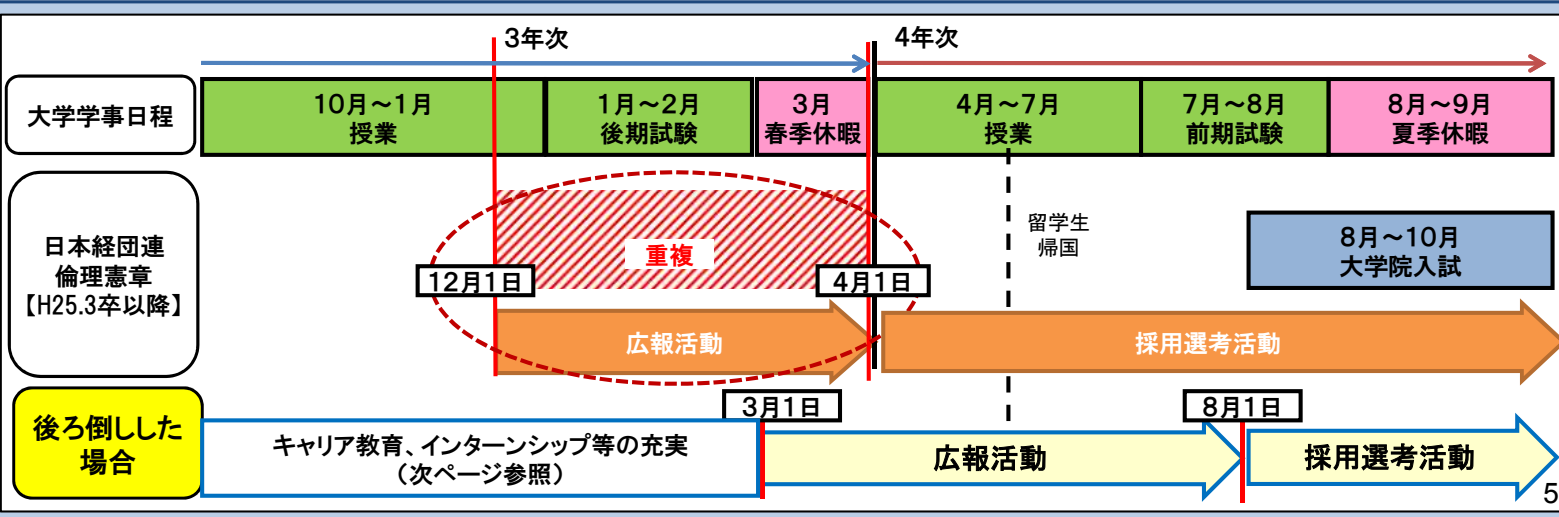
就職活動時期の後ろ倒しについて

現在の就職活動時期をめぐっては、以下の問題が顕在化

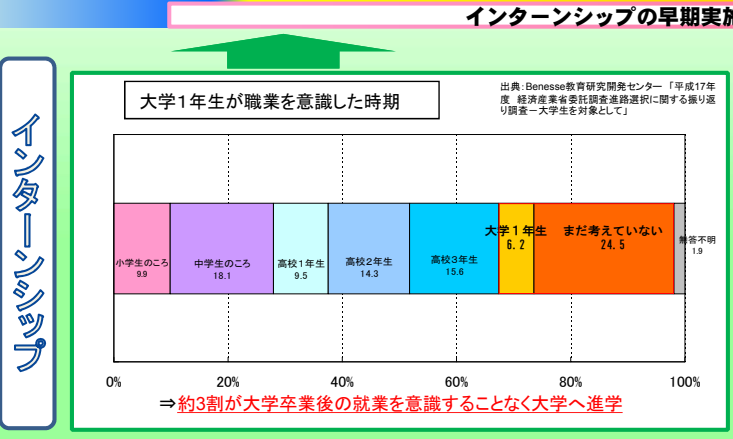
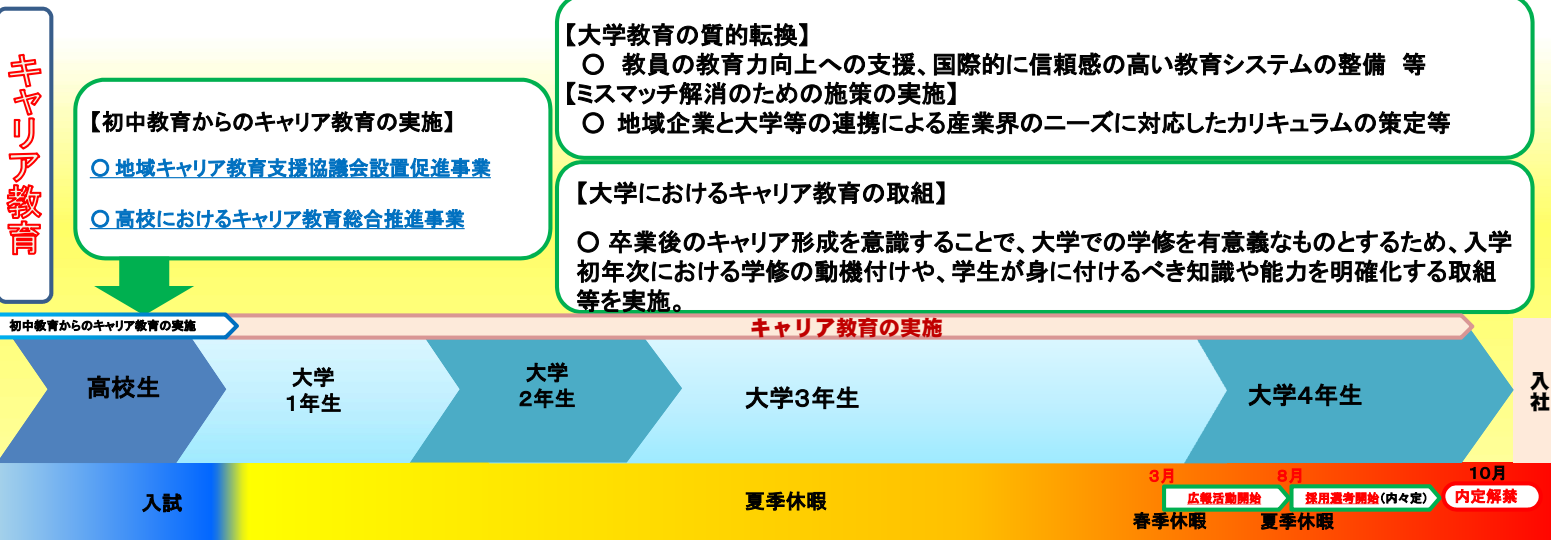
- 倫理憲章の改訂(H23.3)により広報活動開始が3年次10月から12月となったものの、依然として、**大学の授業・試験期間と重複**。
- 学生の成長が最も期待される**3年次の教育に支障**。
- 学生は、**3年次後期の留学をあきらめざるを得ない状況**。

→ このため、就職活動の時期を後ろ倒しあわせて、政府・経済界・教育界が一体となって以下の課題に取り組むこととする

- ① 大学においても社会の求める人材を育成するための取組を強力に推進。
- ② 中小企業の魅力発信を強化するなど一層の対策を実施。
- ③ ミスマッチ解消のため、インターンシップに参加する大学生の数の目標設定を行った上で、早期のインターンシップ・キャリア形成支援などを実施。



キャリア教育、インターンシップの充実



【地域の中小企業におけるインターンシップの充実・初年度からの実施・マッチング】

○有識者会議において、インターンシップの更なる量的・質的充実に向けた検討を実施

→キャリア教育や就職支援について大学等と地域産業界とが調整する仕組み(中小企業におけるインターンシップの充実・初年度からの実施・マッチング)の設置・支援

【参考: 他省庁の取組】

- 地域中小企業の人材確保・定着支援事業(合同説明会等のマッチング支援を全国的に展開等)
- 「若者応援企業宣言」事業の推進
- 新卒応援ハローワーク等によるマッチング支援のさらなる拡充

注) 広報活動: 採用を目的とした情報を学生に対して発信する活動。採用のための実質的な選考とならない活動。採用選考活動: 採用のための実質的な選考を行う活動。採用のために参加が必須となる活動。

人材力強化のための教育戦略

～ 日本人としてのアイデンティティを持ちつつ、高付加価値を創造し、国内外で活躍・貢献できる人材の育成に向けて～

平成25年3月15日

文部科学大臣 下村博文



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

大学を核とした産業競争力強化プラン

グローバル人材の育成

KPI：日本人留学生
倍増(6万人→12万人)
外国人留学生30万人

KPI：
英語力強化
TOEFL iBT
平均80点相当

- ✓ **スピード感を持ってグローバル化を断行し、世界と競う大学の重点支援** …6ページ
英語で授業を実施(5年で3割、10年で5割超)、外国人・海外で学位取得した若手の積極採用、現行制度の枠を越えた先導的取組の実現
- ✓ **日本人の海外留学の倍増** …7ページ
- ✓ **海外拠点を活用した戦略的な外国人留学生の獲得** …8ページ
重点地域を中心に海外に「出張って」優秀な外国人留学生を獲得し、日本企業に就業させるなど戦略的取組を促進
- ✓ **大学入試や卒業認定へのTOEFL等活用の飛躍的拡充** …17ページ

大学発のイノベーション創出

KPI：10年で20の
大学発新産業創出

KPI：大学ランキング
100位以内に10校

- ✓ **未来を見据えた理工系人材育成戦略の確立**…9ページ
企業、教育機関、関係省庁が徹底的に議論、20～30年後の社会経済構造とそれを支える人材のポートフォリオを共有
- ✓ **技術と経営を俯瞰したビジネスモデルを創出できる人材育成の実現**(文理の枠を越えた大学院教育プログラム等) …10ページ
- ✓ **大学発「新」産業革命** …11ページ
大学への出資金を活用した新産業創出
国立大学からの出資による大学発ベンチャー支援
- ✓ **世界トップレベルの教育拠点・研究拠点の形成**(大学ランキング100位以内に日本の大学10校ランクイン)

社会との接続・連携強化 学び直しの促進

KPI：大学・専門学校等の
社会人受講者数を20万人に

- ✓ **地域活性化の核となる大学-COC(Center of Community)の整備等** …12ページ
地域の参画と責任の下で大学を中心に地域人材を育成。地元自治体、商工会、NPO等の大学・高等教育機関経営への参画も進める。
- ✓ **多忙な社会人向けにカスタマイズした社会人向け教育プログラムの提供**(高度人材、中核的専門人材等)
- ✓ **インターンシップの本格展開**(在学中に少なくとも半数の学生が参加することを目指す)と**就職活動の早期化是正** …13ページ

「大学力」の基盤強化

- ✓ **学生を徹底して鍛える教育環境づくり**(学修時間の充実に向けた学びの質の転換) …14ページ
- ✓ **国立大学改革プランの策定**(今夏予定)による**抜本的機能強化**(大学・学部の枠を越えた再編成、年俸制の抜本的導入など人事給与システムの改革、運営費交付金の配分の見直し) …15ページ
- ✓ **私立大学の質保証・向上を徹底**(質保証のトータルシステムの充実、財政基盤の充実とメリハリある資金配分を含む) …16ページ
- ✓ **高大接続、大学入試の在り方**の見直し …17ページ

我が国の若者・女性の活躍推進のための 提言の概要

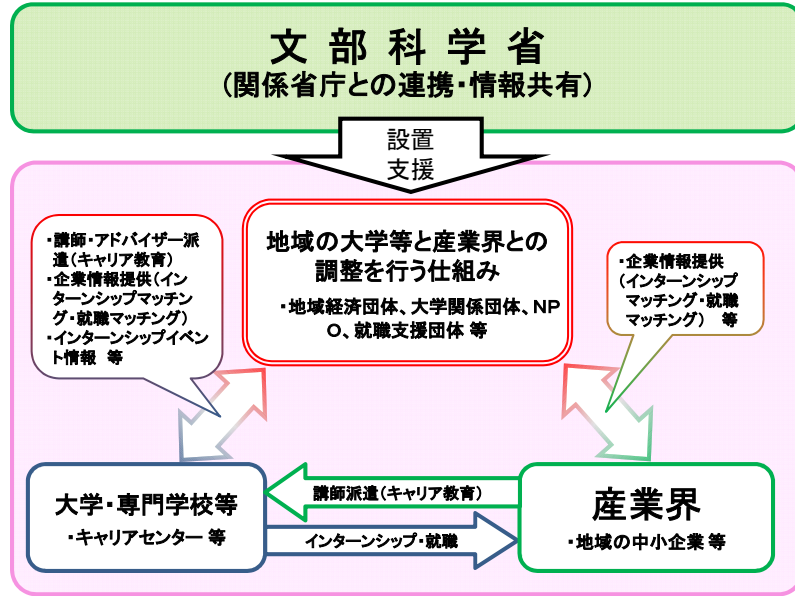
平成25年5月19日
内閣官房・内閣府

◆若者の活躍推進のための 提言の概要

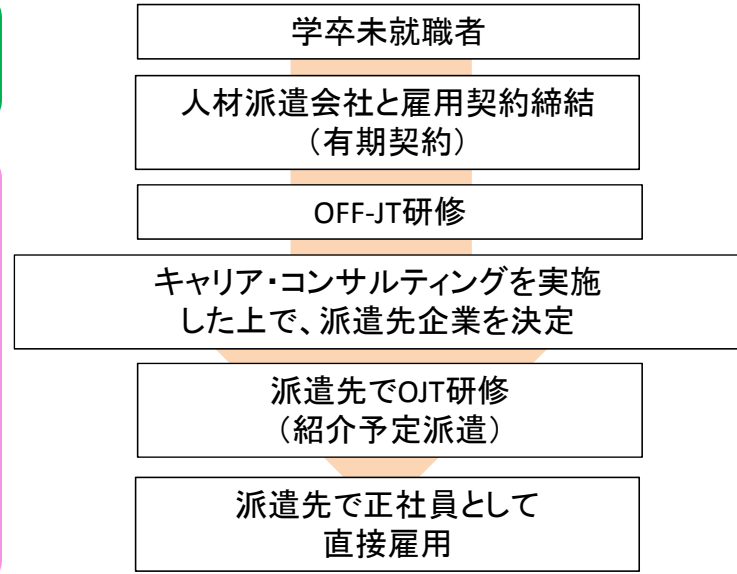
1 民間の知恵を活用したキャリア教育充実、就職支援機能向上

- 地域の大学等と産業界との調整を行う仕組みの設置・支援を通じ、キャリア教育から地域中小企業の魅力発信を含めたマッチング、就職まで一貫して支援する体制を強化
- 民間の紹介予定派遣を活用し、研修、OJT、マッチングを通じた正社員化を促進 等

在学生に対するキャリア教育・就職支援機能の強化

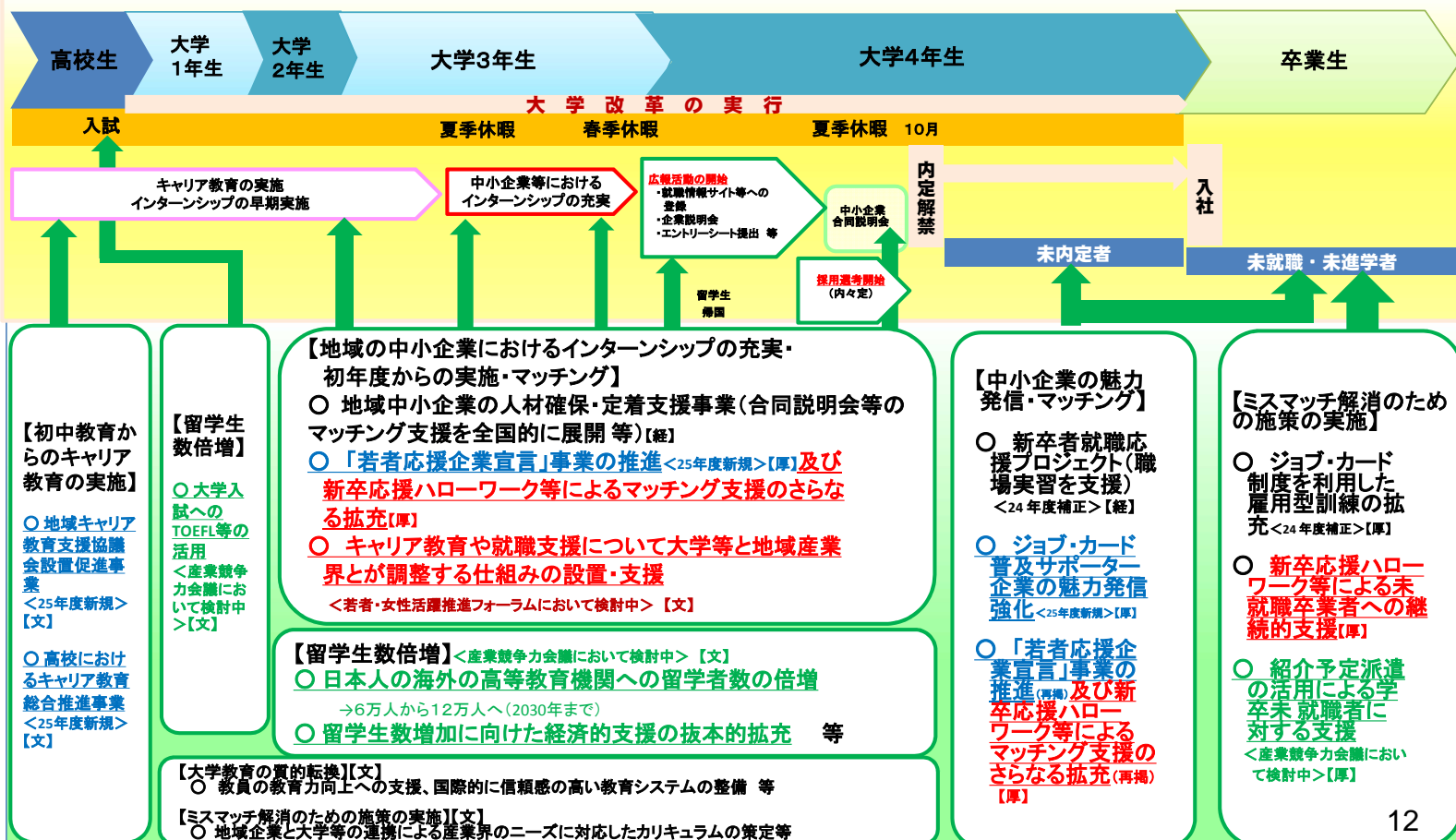


卒業後の未就職者支援への対応



就職活動時期の後ろ倒しに伴う環境整備について (参考1)

就職活動時期を後ろ倒しにした場合のスケジュールと支援策 (イメージ)



注) 広報活動: 採用を目的とした情報を学生に対して発信する活動。採用のための実質的な選考とならない活動。採用選考活動: 採用のための実質的な選考を行う活動。採用のために参加が必須となる活動。